

日本共産党 西宮市会議員

佐藤みち子

活動だより 2015年12月



議員団控室 Tel.0798-35-3368 fax22-7815
自宅 高須町1丁目1-7-5-206 Tel.42-2856

12月議会

子どもたちのために 児童相談所の設置を!



兵庫県内には5か所の児童相談所（県こども家庭センター）が設置されています。

西宮市の青木町に設置されているこども家庭センターは西宮市・尼崎市・芦屋市の3市を管轄しています。

2014年度、市の母子児童支援課に寄せられた虐

待の相談件数は、826件、県こども家庭センターの虐待件数を合わせると約1000件にもなります。

つながりがない子育て

県こども家庭センターは西宮市で虐待が多いのは子ども的人口が多い、他市への転出入が多くつながりがなく孤立化している」と分析。

虐待の背景は経済的な問題もありますが、つながりがない中で孤独に子育てしていることが引き金になります。市のさまざまな子育て支援策につながっていない人が残されています。

金沢市・横須賀市では自前で児童相談所を設置して

いますが、自己完結できる。スピーディーに解決できる等、市で児童相談所を持つことのメリットを上げていきます。

市は、県のこども家庭センターと連携して効果的、効率的に対応できているとして市の児童相談所設置には後ろ向きの答弁を繰り返しています。

12月議会一般質問では、1990年調査開始以来全国で過去最多となっている児童虐待問題を上げました。

西宮市は県内では姫路市について2番目に虐待が多いことがわかり私自身もびっくりです。

市の児童相談所がますます必要

URR借り上げ市営住宅 「明け渡し」議案」継続審査へ

12月11日（金）開かれた西宮市議会建設常任委員会で、阪神・淡路大震災の被災者が入居する借り上げ復興住宅の明け渡しを求め、提訴議案が全会一致で継続審議となりました。

入居者の継続を切実に求める入居者の願いを反映したもので、強引に退去を進める市に対し、裁判に訴える前に、話し合いによる解決を、と求めました。

西宮市はURとの20年の契約期間満了を理由に、借上げ住宅からの全員退去を迫っています。9月30日に

20年をむかえたUR借り上げ市営住宅「ツティハイツ西宮北口」の住民に対する住宅の明け渡しと損害賠償を求める「訴え提起」の議案を提出していました。

党議員団は、西宮市が契約期間満了時に退去するなどの事前通知をしていないことや入居者は何も悪いことをしていないと答弁したことを指摘し、国の補助金活用を検討して、和解するよう求めました。

司法に判断を委ねるのでなく、裁判の手続きを当面回避して、入居者と話し

合い円満に解決すべき」と主張しました。

15日、本会議でも全会一致で継続審査となりました。市民クラブ改革の花岡議員は採決時に退場しました。



旧高須東小学校跡地について

UR都市再生機構とは、跡地の今後のあり方について、短期的な影響だけではなく、高須地区全体の将来的なまちづくりを想定した協議を行っている。売却処分に加えて、20年ないし30年といった長期貸付も含めて総合的に検討する必要があるものと考えていると答弁しました。

高齢化の進展とともに、2018年度からの次期計画以降において高齢者福祉施設の整備を検討していくと述べました。地元からも市に対してぜひ声を上げていきましょう。